

明 — みょう —

真宗大谷派 本明寺通信

No.47

2018年1月1日発行



平等院鳳凰堂

(2017年10月22日撮影)

東京一組教化テーマ

さとりをすまて  
迷いと生きる

本年も毎年の例時として報恩講を厳修いたしました。そもそも、報恩講とは親鸞聖人の祥月命日（11月28日）の集いです。親鸞聖人が亡くなられた日に仏法を聴く集いを開いて、自らの信仰を確かめ学び直そうという人たちが集まりました。この集いを「講」といいます。真宗大谷派の本山の真宗本廟（京都・東本願寺）では毎年11月21日から28日まで勤められますし、全国の真宗大谷派の別院や寺院でも年に一度、日時を定めて勤められています。

二〇一七年  
十月二十八日（土）  
報恩講  
二十九日（日）



# 報恩講法話

講師 近田聖二氏

(豊島区顯真寺住職)



◆今日は娘さんの得度披露がありました。真宗大谷派では親鸞聖人が得度された歳、9歳から得度することができません。親鸞聖人の得度がなければ、このように一緒にお参りすることがなかったかもしれません。

◆先ほど皆さんと一緒に「正信偈」をお勤めしましたが、「正信偈」は親鸞聖人の主著『教行信証』にあります。親鸞聖人がこの「正信偈」を書かれる理由が直前の文にあります。それは、阿弥陀如来の恩、お釈迦さまの恩、インド、中国、日本の七高僧の恩。これらの恩に報いるために作られました。知恩報徳。

◆この恩が私たちはわからないんです。私たちが恩を感じるのとは、何かをしてもらって得をした時で

す。

◆私たちは生きていく中でいろいろな選択をしています。そしてその選択は自分が損するよりも自分が得する方を選びます。それは自分がかわいいからです。

◆私たちは必ず「我（が）」を持っています。この「我」が「分別（ぶんべつ）」をするのです。何が良いのか、悪いのか。何が得か、損か。例えるなら「ものさし」です。他人の価値を計り、自分自身も計ります。この「ものさし」が自分として生きていくのです。

◆このように、自分の「ものさし」で物事の良し悪しを計っているから、「恩」がわからないのです。

◆『大無量寿経』に「不請の友」「不請の法」ということが出てきます。これは阿弥陀如来、またそ

の教えのことを表しますが、「不請」とは私が願い求めなくてもやってくるということです。

◆また『仏説阿弥陀経』には「難信の法」とあります。これは自分の性に合わないから「難信」なんです。

◆池田勇諦師は「宗教には二つある。一つは〈幸福教〉、二つは〈真実教〉とおっしゃられました。「幸福教」とは、自分の目先の幸福を願い依り処とするような生き方です。「真実教」とは、そのような自分の目先の幸福を依り処にして振り回されている自分であると気づかしてくれる教えです。

◆私たちは震災を通してあることに気が付きました。自分が当てにできたことが、本当は当てにならない。当たり前だと思っていた

ことが、本当は当たり前ではなかった。そのことに気が付きました。そして私が何を依り処として生きていたかも。その依り処が震災を通して揺らいだのです。私の生き方が問われたのです。

◆そのことを私はすぐに忘れてしまふ。でもどこか不安を抱えて生きています。不安というのは本当のことを知ったから不安になるんです。不安になるのは本当のことが私にやってきた証拠です。

◆浅田正作さんは「損か得かが人間のものさし。嘘か真かが仏様のものさし」と言われました。私のものさしではどうにもならないことを知らされるのです。

◆「恩」は返すことができないが、知ることにはできる。知ったことで自分がしてきたことが嘘だったこ

とに気づく。そして本当のことに頭が下がる。感謝することができるとです。

◆「嘘は嘘だからはたらく」嘘が嘘としてはたらくから、本当のことに出遇いたいと思うわけです。

◆迷惑をかけないで死にたいと思うのは、今、迷惑をかけていないと思っているから、死ぬ時も迷惑をかけないで死んでいけると思っているわけです。

◆私たちは「門徒」です。「一門の徒輩（いちもんのだはい）」と言います。仏道、剣道、茶道：「道」が付くものには必ず入門があります。門徒は門には入らない。入るといふことは自分の良いように、自分の中に取り込むということです。「門徒」は門にはいらさず、門の前で知らされていくのです。

### ◆報恩講お手伝い

報恩講をお手伝いしていただいた方々をご紹介します。

川瀬	きぬゑ	後藤	まさ子
佐藤	慶子	高野	勢津子
宝田	満男	宝田	康子
瀧口	和彦	瀧口	泉
根岸	千栄子	平山	邦男
星	佳行	堀	かおる
横澤	正克	和田	富士子
渡邊	憲章		

(五十音順・敬称略)

お手伝いいただき、ありがとうございます。ございました。なお、今後お手伝いいただける方がおりましたらご連絡ください。

### ◆おみがき奉仕のつどい

10月22日(日)

おみがき奉仕のつどいにご参加された方々をご紹介します。

川瀬	きぬゑ	君塚	保子
後藤	まさ子	瀧口	泉
本田	有希	本田	唯果
本田	彰一	本田	信子
渡邊	京子		

(五十音順・敬称略)

お手伝いいただき、ありがとうございます。ございました。

次回は年5月20日(日)に行います。



福成寺・本明寺

# 大人の遠足2017

親鸞聖人ご旧跡日帰り旅  
2017年11月26日(日)

報佛寺(茨城県水戸市)  
～那珂湊おさかな市場





『歎異抄』の著者として有名な唯円大徳は1240（仁治1）年、常陸・河和田の地に道場を開いた。のち、この道場は少し離れた竹ノ内という所に移転して泉溪寺と称するようになり1960（元禄3）年、旧河和田城跡の一角に移されて現在に至っている。聖人真筆の十字名号などを寺宝として蔵する他、近在には当初の道場があったといわれる「唯円の道場池」がある。



【写真】

1 段目：唯円大徳石碑

2 段目左：河和田住職 右：山門

3 段目左：昼食あんこう鍋

右：みんなでお勤め

4 段目：那珂湊おさかな市場



# 住職の歩み



◆ 10月16日(月)  
聞光学舎 閉舎式

◆ 10月24日(火)  
東京一組 組会

◆ 10月30日(月)  
児童教化連盟  
創立70周年交歓会

◆ 11月18日(土)  
流山開教所源正寺  
市川アマダサロンにて法話

◆ 11月21日(火)～22日(水)  
東京一組 よにん会  
本山報恩講出仕

◆ 12月6日(水)  
内局懇談

◆ 12月11日(月)  
東京教区 青少年部門  
青年学習会(坂東報恩寺参拝)

◆ 12月12日(火)  
児童教化連盟 秋の研修会  
品川チャイルドライン  
(子どものための電話相談)

◆ 12月19日(火)～20日(水)  
東京教区  
同朋の会教導協議会

◆ 12月21日(木)  
東京教区  
ネットワーク9  
総編集会議

◆ 12月23日(土)  
湾岸親鸞講座③

などなど

Childline  
18 さいままでの電話  
子どもがかかる  
チャイルドライン  
チャイルドラインのやくそく  
●ヒミツはもてるよ  
●どんなことも、くつしよに答える  
●おぼえは悪くなくてもいい  
●切りたいときには、切っていい

QRコードでチャイルドラインの携帯サイトへアクセスできます▲  
0120-99-7777  
電話代はかかりません 携帯・PHS OK まいにち 16時～21時  
主催:認定特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター 後援:内閣府・文部科学省・厚生労働省・経産省

# お寺の掲示板

十月  
十一月  
十二月

十月

十一月

十二月



賢者の信は  
内は賢にして  
外は愚なり  
愚禿が心は  
内は愚にして  
外は賢なり  
親結鳥

猫に小判  
というが  
あわれ人間は  
その小判に  
目がくらむ  
榎本栄一

世界全体が  
幸福に  
ならないうちは  
個人の幸福は  
あり得ない  
宮沢賢治

# 本明寺の予定

## ◆本明寺 修正会・新年会

期 日.. 2018年1月8日 (月・成人の日)  
時 間.. 12時〜修正会  
13時〜新年会

## ◆本明寺 聞法会

期 日.. 2018年

1月28日 (日) ※東京教区報恩講参拝

2月25日 (日)

3月25日 (日)

4月29日 (日)

時 間.. 15時〜17時 (終了後懇親会があります)

お 話.. 本田 彰一 (本明寺住職)

テ ー マ.. 輪読をしよう

(『真宗の生活』を一緒に読み、語り合います)

参加費.. 500円

## ◆東京教区 報恩講 団体参拝

日 時.. 2018年1月28日 (日) 13時〜16時  
※日程終了後に練馬駅で懇親会を予定しています。

集合時間.. 12時30分

集合場所.. 真宗会館正面入口付近

※練馬駅北口バスターミナルより12時15分  
分に無料送迎バスが出発します

会 場.. 東本願寺「真宗会館」

(東京都練馬区谷原一・三・七)

持ち物.. 念珠・肩衣 (帰敬式受式者の方)

申込締切.. 2018年1月21日 (日)

## ◆本明寺 花まつり (子ども会)

日 時.. 2018年4月8日 (日) 13時〜16時

会 費.. 300円

対 象.. どなたでも参加できます。

(でも、子どもが主役です)

※小学校二年生までは保護者同伴でお願いします。

年忌案内 2018年(平成30年)	
回忌	命終された年
1周忌	2017年 (平成29年)
3回忌	2016年 (平成28年)
7回忌	2012年 (平成24年)
13回忌	2006年 (平成18年)
17回忌	2002年 (平成14年)
23回忌	1996年 (平成8年)
25回忌	1994年 (平成6年)
27回忌	1992年 (平成4年)
33回忌	1986年 (昭和61年)
37回忌	1982年 (昭和57年)
43回忌	1976年 (昭和51年)
47回忌	1972年 (昭和47年)
50回忌	1969年 (昭和44年)
75回忌	1944年 (昭和19年)
100回忌	1919年 (大正8年)

※お申し込み・お問合せは、お気軽に本明寺までご連絡ください。

◆湾岸親鸞講座(市民講座)  
 テーマ:「現代社会と宗教、そして親鸞」  
 —(3)『教行信証』を読む—  
 日程:④2018年 2月17日(土)  
           ⑤ 4月7日(土)  
           ⑥ 6月16日(土)  
 講師:木越 康 氏(大谷大学学長)  
 受講料:1,000円  
 会場:すみだ産業会館、他  
 ※会場は不定ですのでお問い合わせください

このような時にお参りします

◆法事

上記の年回忌や四十九日法要など

◆祥月命日

上記の年回忌以外の当月命日

◆月命日

毎月の命日

◆春秋彼岸

春季(3月)、秋季(9月)のお彼岸

◆お盆

本明寺に於いては7月1日〜8月31日

◆その他の仏事

誕生記念、入学祝い、卒業祝い、成人記念、結婚式、お内仏(お仏壇)安置、入仏式など慶弔を問いません

お参りをご希望される方は、日程、場所(お寺、ご自宅、墓地など)が決まりましたら、一カ月前までにお寺までご連絡ください。ご希望に添えない場合もございませうがご了承ください。

### ◆ 私たちの真宗 ◆

- 一、本尊 阿弥陀如来
- 二、宗祖 親鸞聖人
- 三、宗旨 浄土真宗
- 四、宗派 真宗大谷派
- 五、本山 真宗本廟（京都・東本願寺）
- 六、経典 浄土三部経 仏説無量寿経  
仏説観無量寿経  
仏説阿弥陀経
- 七、教え 本願を信じ、念仏もうさば仏になる
- 八、称名 南無阿弥陀仏
- 九、勤行 正信偈・念仏・和讃・回向・御文
- 十、宗風 礼拝の生活  
《朝夕に勤行をいたしましょう》  
正信の生活  
《迷信に惑わされないで歩みましょう》  
聞法の生活  
《仏法を聴聞し、生まれた意義と  
生きる喜びをみつけましょう》

### あとがき

▼新たな年を迎えました。本年もよろしく  
お願いします。▼表紙の写真、平等院鳳凰  
堂は「末法思想」によって平安時代に作ら  
れました。阿弥陀仏の浄土を表現している  
建物なんです。

★ご意見・ご感想・ご質問などをお待ちして  
います。

★バックナンバーをご希望の方はご連絡く  
ださい。すぐにお送りいたします。

発行 真宗大谷派 本明寺  
住職 本田 彰一（釋 彰一）  
〒130-0012 東京都墨田区太平二・七・一  
TEL 03-3623-1536  
FAX 03-3623-1538  
E-mail honmyouji@mx1.ttcn.ne.jp  
URL <http://www1.ttcn.ne.jp/honmyouji/>